

# Organization

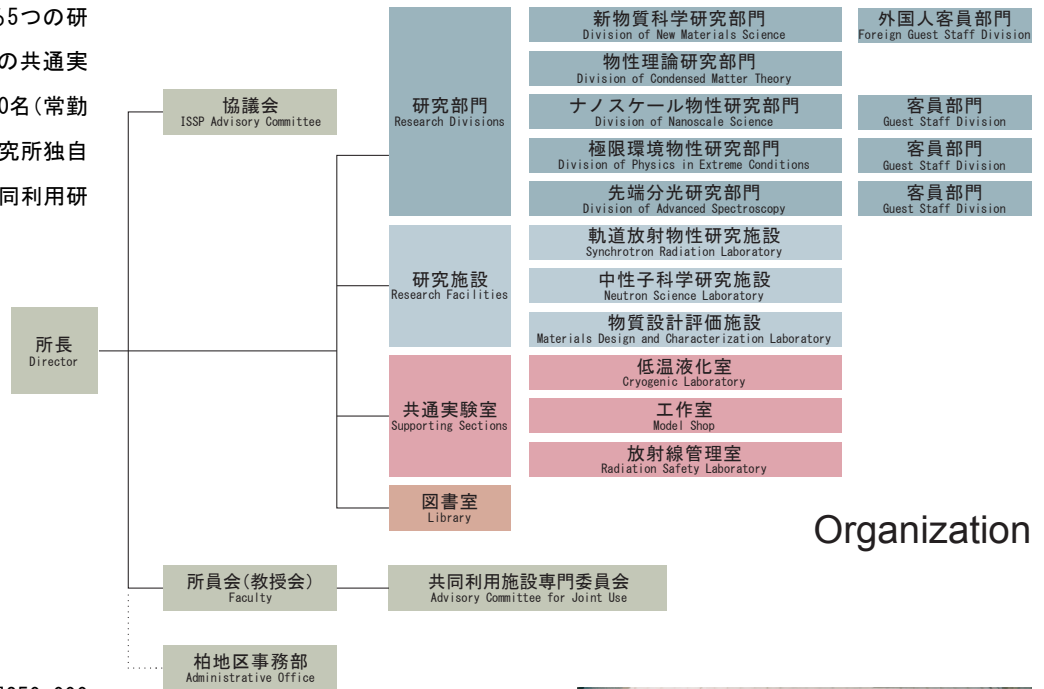
組織



## 組織・全国共同利用・研究支援・教育活動

物性研究所の組織は、研究の主体である5つの研究部門と3つの附属施設、研究支援のための共通実験室と図書室などからなっており、約200名(常勤130名)の職員が勤務しています。そこで研究所独自の研究を行うとともに、全国の研究者に共同利用研究の場を提供しています。

短期研究会、国際シンポジウムなども行い、国内および国際的な研究交流を推進しています。国内だけで毎年のべ約12,000人日の共同利用研究者があります。

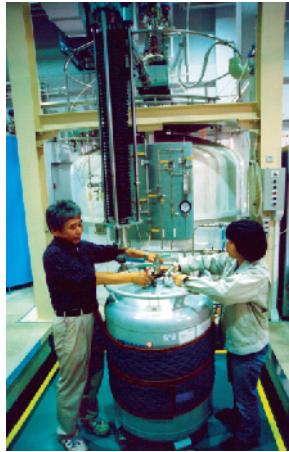


Organization

研究支援のための共通実験室には、年間250,000リットル以上の液体ヘリウムを生産・回収や低温技術の開発支援を行う低温液化室、実験装置や部品の開発製作のため金属工作とガラス工作を行う工作室、放射性物質や放射線発生装置を徹底管理し安全を確保している放射線管理室があります。図書室では、約6万冊の書籍や雑誌(約600種)を研究者の閲覧に供するほか、テクニカルレポートの刊行や、インターネットを用いた情報サービスなどを行っています。



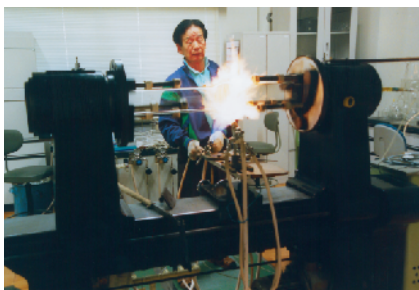
2001年に柏ではじめて開催されたISSSP国際シンポジウムの参加者



低温液化室のヘリウム液化機とヘリウム供給のようす



図書室



工作室におけるガラス工作と金属工作

物性研究所は、東京大学の理学、工学、新領域創成科学の大学院課程の教育にも参加しています。約110名の大学院学生がそれぞれ研究室に配属され、第一線の研究環境で活発に研究しながら、優れた研究者に成長してゆきます。